

ふて寝に晴天、平常の炸裂。

futeneniseiten, heijhonosakuretsu
tanaka shusuke exhibition
Gallery PARC

ふて寝に晴天、平常の炸裂。

田中 秀介展

2017年3月31日[金]—4月16日[日] 11:00～19:00
月曜日休廊 ● 金曜日のみ20:00まで

アーティスト・トーク(聞き手:武本彩子[Gallery PARC])
4月15日[土] 17:00～18:00

Gallery PARC[グランマーブル ギャラリー・パルク]では、2017年3月31日[金]から4月16日[日]まで、田中秀介による個展「ふて寝に晴天、平常の炸裂。」を開催いたします。田中は2015年に開催した公募「Gallery PARC Art Competition 2015」の選考作家として開催した展覧会『私はここにいて、あなたは何処かにいます。』より、ギャラリー・パルクでは2年ぶり2回目の個展となります。

田中秀介(たなか・しゅうすけ/1986年・和歌山生まれ)は、2009年に大阪芸術大学美術学科油画コースを卒業後、大阪・京都などで個展やグループ展を重ね、2016年にはトーキョーワンダーサイト渋谷にて個展『円転の節』を開催。また、2014年に「シェル美術賞」・「トーキョーワンダーウォール2014」・「FACE 2015 損保ジャパン日本興亜美術賞」入選、2015年に「Tokyo wonder seeds 2015」入選、2016年の「トーキョーワンダーウォール2016」ではトーキョーワンダーウォール賞を受賞するなど、その評価は着実に高まっています。

くたびれたスーツの男がトラックの荷台に肘をつく《空っぽの突っ張り》。日中の道路工事現場の作業風景《道作り》。夜半にダウンを着込んだ女性が自転車に乗る《インフラストラクチャー》。あるいは、壁に貼り付けられたビニール袋、闇夜の電柱、電球とデコポン。

絵を描くにあたり田中は、身の回りにあるこうした他愛のない物事を材にします。しかし、絵に描く理由が特に無さそうな、この「ありふれた風景の絵」を目にするうち、鑑賞者はどこか言い知れぬ違和感を覚えはじめます。そして、その違和感の理由を求めて画面に目を凝らした時、そこに絵画上の様々な要素(明快な色彩と細やかな色調、面描と線描、刷毛目に任せた大きなストロークと筆先によって与えられた緻密なテクスチャ、西洋・東洋の描画テクニックの拝借など)を発見することができます。また、ともしれば画面上に矛盾や破綻を生じさせるかもしれないこうした要素が、絵として「ありふれた風景」を成り立たせていることは、それらが田中によって入念に選択され、調整されたものであると感じさせます。では、そこにあるはずの田中の意図を知ろうと、それぞれの事物の意味や関係性を目と想像で追いかける時、目の前にはやはり「ありふれた風景の絵」しか存在しない。そしていつまでも残る(少しだけ更新された)違和感。

田中の作品は、その主題・意味・目的・技法などにおいて「絵であること」の理由(正しさ)を不在にしたまま、「絵であること」の切実さを強く感じさせます。言い換えるなら田中は、「絵が絵以外の何かになることを周到に抑制する」かのように絵を仕立てていると言えます。そして、そのことが鑑賞者に認識の検証と更新、記憶や想像による物語の想起と放棄、主観の投影などを求め続け、決して腑に落ちることのない鑑賞を促し続けるのではないのでしょうか。

新作となる絵画およそ10点を中心に構成される本展において、その作品の魅力(違和感)を存分にお楽しみいただくとともに、私たちの暮らしの中に溢れる「当たり前さ」への認識を疑い、更新し、時に戯れることを促す機会となれば幸いです。

なお、4月15日[土] 17:00～18:00には、会場にて田中秀介によるアーティスト・トーク(聞き手:武本彩子[Gallery PARC])を開催いたします。本展と合わせて、田中の作品や制作への眼差しをうかがい知る機会となるのではないのでしょうか。

artist statement

私はとある家庭に生まれ、気がつけば意識があり、たちまち外部の膨大な影響を否応なく受け、結果言わば出自のはっきりしない自覚、というものを明確に認識している状態である。しかし、外部からの影響もそれに伴った自覚も無限に続く訳でも無く、意識の消滅と共に歯止めが掛かる事は、何となく知っている。そうなる逆算的に考えてもあらゆる事物、それらとの接触も有限である事に気づく。ならば自覚の出自を探ろうと外部を見渡す。咄嗟に焦点を合わせれば、誰かがデザインした流線型の照明器具、途方も無い空と奇態な雲、積年の石、偉人の親戚、蜂蜜の流動、打ち捨てられたスウェット等、それらはけたたましく、かつ淡々と代謝の如く立ち代わり存在している。すなわちこれら当然が身边を満たし、また自身もそれに埋没している事に気づく。私の描き出す発端はこの当然を紐解き検証する事から生じる。

田中秀介

C.V

田中秀介

2005年、大阪芸術大学附属 大阪美術専門学校 美術工芸学科 絵画専攻 入学
2007年、大阪芸術大学附属 大阪美術専門学校 美術工芸学科 絵画専攻 卒業
2007年、大阪芸術大学 美術学科 油画コース 編入
2009年、大阪芸術大学 美術学科 油画コース 卒業

[個展]

2016 ALLNIGHT HAPS 人と絵の間「こないだのここからあそこ」(京都/HAPS)
- 円転の節(トーキョーワンダーサイト渋谷)
- 円転の節(奈良/ギャルリ・サンク)
2015 私はここにいて、あなたは何処かにいます。(Gallery PARC)
2013 回想と突発のわれわれ(京都/Gallery Morning)
2012 節々の往来(京都/Gallery Morning)
- 破竹の集約(大阪/room.A)
2011 香ばしい遜色(大阪/room.A)
- 空回る傍観(京都/Gallery Morning)
- Tanaka Shusuke solo exhibition(韓国/Alternative Space MARU)
2010 華やかな隔たり(大阪/2kw gallery)
- 差し出る誤解(大阪/room.A)
- 平穩のむきだし(奈良/Gallery&Cafe E・R・I+Y)
2009 信じがたい部分(大阪/Gallery Den 58)

[グループ展]

2017 Big Sensation(京都/Gallery Den Mym)
2016 トーキョーワンダーウォール 2016 入選作品展(トーキョーワンダーサイト渋谷)
2015 トーキョーワンダーウォール 2015 入選作品展(東京都現代美術館)
- liquid section(大阪/2kw gallery)
- FACE 2015 損保ジャパン日本興亜美術賞展(東京/損保ジャパン日本興亜美術館)
2014 トーキョーワンダーウォール 2014 入選作品展(東京都現代美術館)
- まよわなのために-not to stray-(大阪/the three konohana)
- CONSTELLATION 2014-星座的布置展-(上野の森美術館)
2013 夜水鏡みがかず見るよ一死と詩一(奈良/Gallery OUT of PLACE)
- 有馬温泉路地裏アートプロジェクト 2013(兵庫/有馬温泉)
- 5Artist(大阪/阪急メンズ館)
2012 アート街道(神戸/神戸アートビレッジセンター)
- MAX PAINTINGS(大阪/ギャラリー白)
- [FUKUSHIMA ARTプロジェクト]×[福島∞京都](京都/元・立誠小学校)
2011 Worldmaking(大阪/2kw gallery)
- TASTING ART EXHIBITION 03(大阪/阪急メンズ館)
- Pilot Plant-昭和は遠くなりにけり(大阪/CAS room.A)
- visual sensation vol.4(京都/Gallery Den mym)
2010 TASTING ART EXHIBITION 02(大阪/阪急メンズ館)
- ART SAN DIEGO CONTEMPORARY ART FAIR 2010(America:San Diego/Hilton Hotel)
- TASTING ART EXHIBITION(大阪/阪急メンズ館)
2009 S.S.S.(大阪/Gallery Den)
- サントリー賞受賞特別展 薄い皮膚(サントリーミュージアム[天保山])
- Art camp 2009(大阪/Gallery Yamaguchi Kunst Bau)
- Tokyo wonder seeds2009(東京/トーキョーワンダーサイト)
- Acryl Award 2008 巡回展(東京・大阪・北海道)

[レジデンスプログラム]

2010 Asia Art Program(韓国・昌原/Alternative Space MARU)

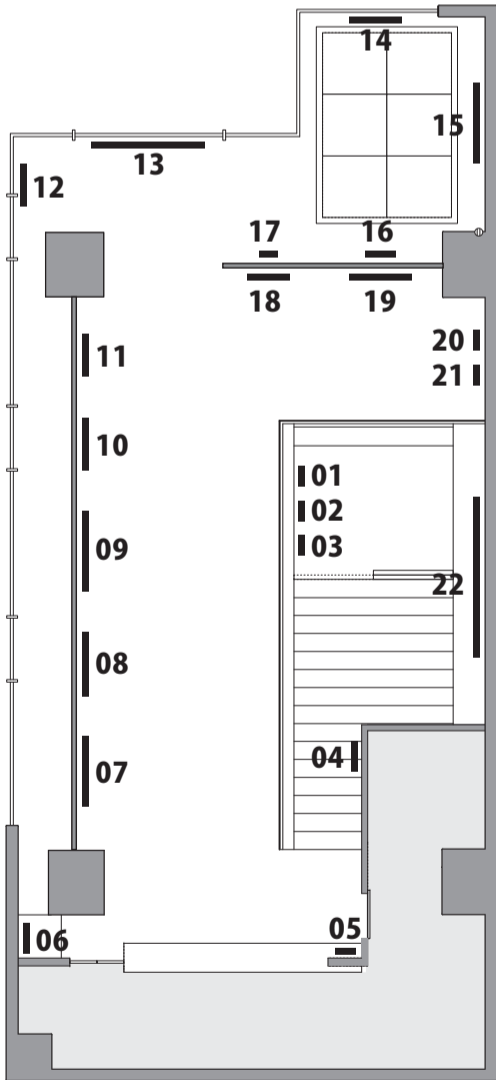
[受賞・入選等]

2016 トーキョーワンダーウォール 賞 受賞
2015 トーキョーワンダーウォール 2015 入選
2015 Tokyo wonder seeds 2015 入選
2015 Gallery PARC Art Competition 2015 入選
2014 FACE 2015 損保ジャパン日本興亜美術賞 入選
2014 シェル美術賞 入選
2014 トーキョーワンダーウォール 2014 入選
2009 第24回 ホルペイン・スカラシップ 奨学生 認定
2009 Art Camp 2009 サントリー賞 受賞
2009 Tokyo wonder seeds 2009 入選
2009 Acryl Award 2008 入選

works

2017年、木製パネルにキャンバス・油彩
*13.22のみキャンバス・油彩

- 01【仕事雑事他人事】
- 02【眼前の石はたまたま】
- 03【頭上正面横は夜】
- 04【経て艶】
- 05【ワッポン】
- 06【杜撰なしづく】
- 07【百万遍の曙光】
- 08【空っぽの突っ張り】
- 09【一刻の主役】
- 10【素朴売り】
- 11【無論棒】
- 12【凸凡】
- 13【とどく悠遠の所在、ゆるる微塵の器】
- 14【イニシアチブ】
- 15【言葉なく勝手に旺盛】
- 16【霞巻き】
- 17【朝球ニケ】
- 18【底打ちのぴかつき】
- 19【いつまで体面】
- 20【くこ】
- 21【春】
- 22【丹念に度外視の光】
- 23【吊られ知らず】
- 24【来そうで来ない】
- 25【織りどつき】
- 26【美味しい陰陽】



1階グランマーブル店舗内展示作品

【夜の焦点】

2017 紙・油性インキ、鉛筆

【ここに来ても及ぶ】

2017 紙・油性インキ、鉛筆、チョーク

【どさくさ】

2017 紙・油性インキ、鉛筆、チョーク

【置換のやさしみ】

2017 紙・油性インキ、鉛筆、チョーク